

## 福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	福井県の河川におけるポリオキシエチレンアルキルエーテルの実態調査
発表学会名	第 56 回日本水環境学会年会
発表者名	大野木 卓 (環境部)
開催場所	ポスター発表
発表日時	令和 4 年 3 月 1 7 日 (木)
発表内容	<p>ポリオキシエチレンアルキルエーテル (以下、「AE」という) は界面活性剤であり、工業用および家庭用の洗剤や乳化剤、分散剤等として用いられ、その発生源は様々である。また、AE は環境省の化学物質の環境リスク初期評価において、水生生物へのリスクが認められ、詳細な評価を行う候補物質とされている。また、福井県は AE 排出源となる繊維工業が盛んであるが、県内の河川水における AE の実態はまだ把握されていない。</p> <p>そこで、AE の実態を把握するため、河川水における AE および発生源解析に用いる分子マーカー (クロタミトンおよびカルバマゼピン) の LC-MS/MS による同時分析法の検討し、河川水の調査を行った。</p> <p>流域に主に森林、水田および住宅がある県内河川水の測定を行ったところ、AE については、EO2~20 の各同族体の濃度は 14~113 ng/L であった。また、分子マーカーについては、クロタミトンが 5.0 ng/L、カルバマゼピンが 0.24 ng/L で検出されており、生活排水由来の AE が流入している可能性があるかと推察された。</p> <p>今後、実態調査を進め県内の状況を把握するとともに発生源解析を行っていく。</p>